

コイン駐車場に着目した駐車行動に関する研究

大同工業大学大学院 学生員 ○ 市川 隆人
大同工業大学 正会員 舟渡 悦夫

1.はじめに

都市部における路上駐車問題は解消の兆しを見せることなく深刻化している。問題の解決策として路外駐車場への誘導が考えられ、様々な研究がなされているが、近年、都市部において増え続けている「コイン駐車場」に焦点をおいた研究は、ほとんど見られない。そこで本研究では、コイン駐車場に近隣する立体駐車場と、その周辺の路上駐車車両、パーキングメータに注目し、それぞれの利用形態を分析することで、コイン駐車場の有効度を明らかにすることを目的とした。

2.調査概要

調査期日は1997年6月中旬で、栄、名駅、池田の3地区において、9:00～23:00までの14時間連続で調査を実施した。調査方式は、ナンバープレート式連続調査で、各駐車車両の駐車開始・終了時刻記入方式を用いた。表-1は、地区別の駐車場特性値をまとめたものである。

表-1 地区別の駐車場特性値

地区名	駐車場名	記号名	収容台数	通常料金体系	60分換算料金	特別料金体系(該当時間)	営業時間	サンプル数
栄地区	栄O1パーキング(立体)	SB	30	200円/30分	400円	3ナンバー250円/30分	8:30～22:30	23
	タイムズ栄2(コイン)	SC1	8	100円/15分	400円	特になし	24h	28
	名鉄パーキング(コイン)	SC2	8	100円/20分	300円	特になし	24h	40
名駅地区	ロータスパーク(立体)	MB	34	200円/30分	400円	特になし	9:00～19:00	17
	タイムズ南町(コイン)	MC1	8	100円/20分	300円	100円/30分(24:00～8:00)	24h	25
	NPCパーキング(コイン)	MC2	40	100円/15分	400円	100円/30分(24:00～8:00)	24h	89
池田地区	ハセガワパーキング(立体)	IB	30	200円/30分	400円	特になし	9:00～24:00	30
	タイムズSFパーク(コイン)	IC1	12	100円/30分	200円	200円/30分(18:00～8:00)	24h	28
	ぎおんパークII(コイン)	IC2	9	100円/40分	200円	100円/20分(18:00～8:00)	24h	20
	タイムズ栄1(コイン)	IC3	5	100円/40分	200円	100円/20分(18:00～8:00)	24h	17

3.全地区における利用実態比較

図-1は、駐車場の収容台数と駐車時間の関係を示したものである。横軸の駐車時間は、各駐車場の50%タイル値を表わしている。駐車時間に注目すると、50分未満の駐車場は収容台数30台以上の立体駐車場しかない。逆に、100分以上の駐車場のほとんどが、収容台数10台以下のコイン駐車場である。栄地区の立体駐車場は駐車時間が長くなっているが、これは調査日が土曜日であったために起きてしまったと推測される。

図-2は、駐車施設別の駐車時間の累加曲線を示したものである。ここで road とは、不正駐車車両と、パーキングメータ利用車両の両方を指している。コイン駐車場と立体駐車場を比較すると、60分では累積がほぼ同じになっているにも関わらず、立体駐車場の方が、短時間駐車車両が多い。

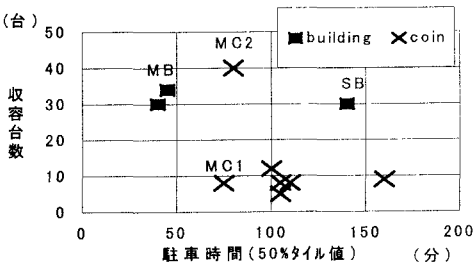


図-1 収容台数と駐車時間の関係

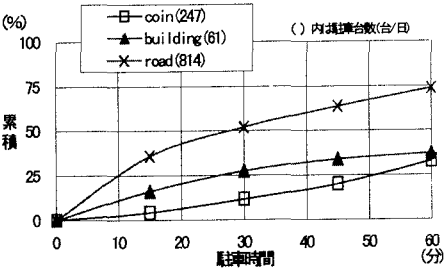


図-2 駐車施設別累加曲線

